



一般社団法人 全国妊娠 SOS ネットワーク  
2026 年度 困難を抱える女性への妊娠期からの連携支援研修  
(1 日半のパッケージ研修) ご案内



- 本研修は、予期しない妊娠をした女性や困難を抱える妊婦への連携支援を、多職種の支援者と一緒に学ぶ研修です。生活困窮、孤立、精神疾患や知的障害、傷ついた生い立ち、依存症等を抱え妊娠に悩む女性に対し、一つの窓口で完結可能なことは何もなく、多機関による連携支援が求められます。  
1 日半の本研修では、相談の入口から始まる当事者のニーズに応じた多機能な包括的支援を学び、日々の実践に活かせる研修となっています。
- 2024 年度までの「予期しない妊娠への相談対応研修」とは内容が異なりますので、予期しない妊娠への相談対応研修（基礎編）をご希望の自治体・法人の方は、別途お申込みください。
- 研修内容と講師：  
1 日目：10：00～16：00 （※開催地により 30 分の前後あり）
  - 児童福祉と母子保健の連携：縦割りのブレイクスルー  
佐藤 拓代（全妊ネット代表理事、公益社団法人母子保健推進会議会長、医師）
  - 連携支援のコツとボトルネック  
松岡 典子（全妊ネット理事、MC サポートセンターみっくみえ代表、助産師）
  - 困難を抱える妊婦のケースワークの実際  
赤尾 さく美（全妊ネット理事、一般社団法人ベアホープ 理事、助産師）2 日目 9：30～13：00 \*14:30 ごろまで自由参加の交流タイムあり
  - にんしん SOS や妊産婦の居場所の実践報告（3 か所程度から報告とディスカッション）
  - 事例から学ぶ地域連携（グループワーク）※近隣県からのにんしん SOS・居宅支援関係者も参加していただき、広域で学び合う機会とします。
- 研修対象は、予期しない妊娠をして悩んでいる女性と関わる機会のある医療、保健、福祉、教育の専門職です。主催者側（自治体・法人等）の職員、所属会員のみでなく、多機関、多職種へのお声かけをしていただいて 50 名以上は集め、地域での周知・連携の場としてください。  
※ただし、学生、一般の方は対象外です。
- 1 日半の研修の全体をしっかりと受講していただきたく、部分参加や遅刻・早退は原則お控えください。やむを得ない場合は、あらかじめご連絡いただくようお願いします。
- 助成：日本財団
- 後援：母子保健推進会議、日本助産実践能力推進協議会
- アドバンス助産師更新申請・再認証申請の選択研修として認められます（会場：5 時間+3.5 時間）。チラシ・申込フォームに記載をお願いします。